

お知らせ

令和3年11月2日

情報提供先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

11月10日(水)に志津見ダム フラッシュ放流を実施します。

志津見ダムでは、11月10日(水)6時30分頃から神戸川の河川環境改善を目的としたフラッシュ放流を行います。

フラッシュ放流とは、利水放流管から放流を行い放流量を一時的に増加させ、小規模洪水を起こすもので、河床の石に付着している藻類の剥離や河床堆積物(落葉など)の掃流により、生物の多様な生息・生育環境の保全、復元や水環境の改善を期待するものです。

なお、フラッシュ放流中の窪田発電所、乙立発電所の発電停止、八幡原堰の全倒伏について中国電力に協力頂きます。

フラッシュ放流は、平成25年度より実施しており、今回で9回目となります。

フラッシュ放流により、河川の水位が普段より上昇しますので、河川の利用にあたっては、十分注意してください。

フラッシュ放流の詳細については、別紙-1をご覧ください。

直前の気象等により、延期する場合があります。その際は、

Webサイト(出雲河川事務所 <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen>)でお知らせします。

志津見ダム フラッシュ放流の状況(令和2年11月16日)



フラッシュ放流前後の河床堆積物の掃流状況(平成26年)



フラッシュ放流前

フラッシュ放流後

<問い合わせ先>

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所 0853-21-1850 (代表)

【担当】(技)副所長 平井 雅之(ひらい まさゆき)

管理第二課長 烏田 和彦(からすだ かずひこ)

0853-20-1754

志津見ダム管理支所 支所長 古田川 慎也(こだがわ しんや)

「くにびきくん」 (飯南町角井1891-20) 0854-73-0222

志津見ダムキャラクター



志津見ダム フラッシュ放流について

フラッシュ放流実施の経緯

島根県が設置した「神戸川の河川環境に関する専門委員会」の報告を受け、平成25年度より志津見ダム フラッシュ放流を実施しています。

「フラッシュ放流」とは

ダムで洪水調節をするようになると、出水時にダム下流の水量が増減する頻度が少なくなり、川底などに細かな砂や、草や枝などの有機物の堆積が進むことがあります。

フラッシュ放流は、一時的にダムからの放流量を増やし、人工の小規模洪水を起こして、河床の石などに付着した泥等を取り除いたり、生物の生育環境の保全や水環境の改善を期待するものです。

フラッシュ放流の最大放流量及びピーク放流量継続時間について

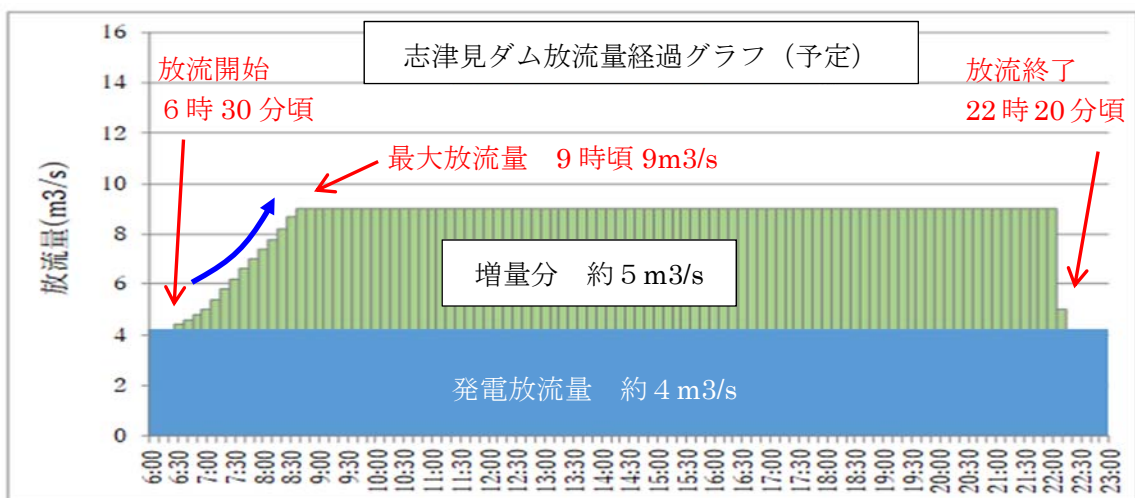
今回のフラッシュ放流では、利水放流管からの最大放流量（発電放流量含む）を約9m³/sとし、ピーク放流量継続時間を13時間程度で実施します。

注意して欲しいこと

フラッシュ放流により、下流の河川では水位が上昇します。また、**川の幅が狭くなる場所、川の傾斜が急な場所では、他の場所より水位が高くなったり、流れが速くなる場合があります。**

予想される水位上昇量と到達時間は別紙－2のとおりです。

フラッシュ放流時の放流計画グラフ



※降雨等により常用洪水吐から数m³/s水が流れ出ることがあります。

※放流開始時刻・最大放流量到達時刻・放流終了時刻が変更になる場合があります。



フラッシュ放流時の水位上昇量・到達時間（予測値）